

6年学年だより Believe

令和7年12月5日
第6学年だより
第24号
今週の文責：元泉 沙英子

2025年も残りわずかとなりました。季節の移ろいとともに子どもたちの成長を感じられます。また、1年間を思い返すと本当にあっという間だったとも感じます。12月の残された日々も、卒業へつながる大切な時間です。子どもたちの挑戦と成長をあたたかく見守っていただければ幸いです。

「思いを一つに」学習発表会の進捗　～台本・配役希望調査の配布～

今週は、12月2日（火）に台本を配り、翌日3日（水）に配役希望調査を配りました。

台本を読んだ子どもたちは、「展開が早いですね。」「クジラはどうするんですか。」など舞台上で、どのような劇になるのか想像した声が聞かれました。3日（水）の学年集会では、オーディションの方法や規準を子どもたちに話しました。第5希望まで考えるように伝えていますので、迷っている際は一緒に相談にのってあげてください。よろしくお願ひいたします。

マニラ日本人学校とのオンライン交流会　～全3回の交流を終えて～

11月28日（金）には、豊溪小学校からマニラ日本人学校の6年生にむけて、3～5分程度のプレゼンテーションを行いました。子どもたちは、

①豊溪小学校、②移動教室、③中学校、④クラスアンケートや放課後、⑤練馬のこと、

という5つのテーマから選び、スライドを用いながらこちらの生活の様子を伝えました。画面の向こうにいる相手に伝えるという慣れない状況でしたが、放課後の過ごし方や移動教室で楽しかったことなど、一人一人がテーマについて説明をして、質問に答えることができました。

12月4日（木）には、マニラ日本人学校のプレゼンテーションを聞き、交流を振り返るまとめの会をしました。マニラの生活や文化に興味をもって話を聞くことや疑問に感じたことを質問することができました。

全3回の交流ではありましたが、少人数のグループで交流を続けることで、互いの顔と名前を覚えることはもちろん、子どもたちの会話から打ち解けている様子がうかがえました。「先生、○○さんノリがいいよ。」「△△さん、話すのがうまい！」という言葉が聞こえてきて、「マニラ日本人学校の子どもたちと友達になる」というねらいが達成できたのではないかと感じました。

勇猛精進・友明笑人

凡事徹底、温厚篤実

